



# Choeur Prière



ソプラノ独唱: 大村 博美



指揮: 黒岩 英臣



バリトン独唱: 千代崎元昭

創立50周年 & 黒岩英臣 常任指揮者勇退 記念

## クール・プリエール 第39回定期演奏会

2023年 9月18日 (月・祝) 浜離宮朝日ホール

1:30pm開場 2:00pm開演 入場料 3,000円 (全自由席)

ヴィクトリア: イエスの優しい思い出、ああ大いなる神秘、私の目は曇り

コダーイ: 聖イシュトヴァン王賛歌、ノルウェーの娘たち、美しい祈り

## ブラームス: ドイツ・レクイエム

(室内楽伴奏編曲: Linckelmann)

合唱: クール・プリエール 伴奏: プリエール室内オーケストラ

《チケットお取扱い》チケットぴあ Pコード 247756 <https://t.pia.jp/>

《お問合せ》メール [info@choeurpriere.com](mailto:info@choeurpriere.com) tel.03-3718-0408

<https://www.choeurpriere.com>





## 黒岩 英臣 (指揮) Kuroiwa, Hideomi

1982年、クール・プリエールの常任指揮者に就任。以来41年の間、祈りとロマンに溢れる熱い音楽創りで、聴衆と団員を魅了し続けた。創立50周年の今回を期に、当団の常任指揮者を勇退し、そのタクトを後進に託す。

(写真は、常任指揮者就任当時)

1942年東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部指揮科において故斎藤秀雄氏に師事。1965年同大学を卒業後、修道士となり1975年まで修道生活を送った。その間、神学、哲学、ラテン語、グレゴリアン、ポリフォニーを学び、典礼音楽の指揮、作曲を行う。1976年、再び音楽に専念。

自らが敬虔なキリスト教徒ということから、宗教音楽に造詣が深く、情熱的な音楽創りが評価されており、オラトリオ、レクイエム、ミサ曲等での名演を重ねている。2000年には、J. S. バッハ没後250年を記念し東京オペラシティコンサートホールで「マタイ受難曲」を指揮し、「強固な信心に裏打ちされた演奏には、胸を打つ何かひびいてくる」(音楽之友社)と称賛された。

1981年から88年まで九州交響楽団常任指揮者、1985年から89年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、1988年から94年3月まで関西フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者を歴任。2001年から山形交響楽団常任指揮者を務め、2004年から現在に至るまで同団名誉指揮者を務めている。また、1978年より2016年まで桐朋学園大学にて教鞭を執り、多くの著名な指揮者を育て上げた。



大村 博美  
(ソプラノ独唱)

東京藝大大学院修了後イタリア留学中にベルヴェデーレコンクールオペラ部門(ウィーン)、ジャンフランコマズーニオペラコンクール(イタリア/レージョエミリア)等の国際コンクール入賞。拠点をフランスに移しマルセイユ国際オペラコンクール優勝。欧米豪の歌劇場や音楽祭で「蝶々夫人」、「オテロ」のデズデモナ、「トロヴァトーレ」のレオノーラ、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、難役として知られる「ノルマ」等、常にソプラノの主役で活躍。プッチーニフェスティバル(イタリア/トッレ・デル・ラーゴ)で2018年19年に2年連続「蝶々夫人」、21年に「トスカ」で主演し喝采を浴びた。日本では新国立劇場「蝶々夫人」、「ドン・カルロ」のエリザベッタ等で大成功を収め、近年は東京二期会の蝶々夫人、トスカ、椿姫、演奏会形式「ノルマ」等で喝采を博す。コンサートの分野でも、ロンドン交響楽団とセントポール大聖堂でブラームスの「ドイツレクイエム」ソロ、フランス国立管弦楽団とパリのシャンゼリゼ劇場でメンデルスゾーンの「真夏の夜の夢」ソロを務める等高い評価を受ける。東京交響楽団とのベートーヴェン第九のCD、オペラオーストラリアから違う演出で2本の蝶々夫人のDVDが発売中。



千代崎 元昭  
(バリトン独唱)

京都大学卒業。尚美学園ディプロマ(大学院大学)首席修了。ベルリン・ドイツオペラ、ヘルシンキ歌劇場専属歌手を経て、フリーランスのオペラ歌手となりイタリア・ミラノに活動拠点を移す。ミラノ・スカラ座、ヴェローナ野外劇場、トリノ王立歌劇場などのオーディション合格。マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール最高位、ベリーニ国際音楽コンクール入賞。約25年間にわたり世界約40ヶ国の歌劇場に於いてヴェルディ作曲「オテロ」「アイーダ」、ワーグナー作曲「ローエングリン」「ワルキューレ」などテノールの重要な役を数多く歌う。声楽をP.ヴェントゥーリ、P.M.フェラーロ、C.ベルゴンツィ、F.コレルリの各氏に師事。現在、マリオ・デル・モナコ国際門下会会員(イタリア・トレヴィーゾ市)。

『音楽を志した約40年前にプリエールに入団、グレゴリオ聖歌やルネサンス・バロック音楽、現代音楽などを歌い生きた西洋音楽史を学んだ』(本人談)。創立50周年の今回、クール・プリエールのメンバーとして復帰し、バリトン独唱を担当する。

## プリエール室内オーケストラ (伴奏)

今回の定演のために結成された室内オーケストラ。昨年伴奏した桐朋学園卒の若手弦楽四重奏メンバーを主体に、第一線で活躍する実力派メンバーで構成。

山根 あずさ (1st violin/ concertmistress) 金子 都 (2nd violin) 大森 悠貴 (viola) 安井 総太郎 (cello) 瀬戸 慎之介 (contrabass)  
田中 紗貴 (flute/piccolo) 藤本 茉奈美 (oboe) 務川 広貴 (clarinet) 佐藤 千明 (horn) 木村 卓巳 (fagott) 秋場 一宏 (timpani)

## クール・プリエール (合唱) Choeur Prière



1973年、東大柏葉会OBを中心に10数人で発足。今年で創立50周年となる。初期の指揮者は栗山文昭。合唱団O.M.P.の構成メンバーとして、1978年、1980年、全日本合唱コンクール全国大会にて金賞。1982年に黒岩英臣を常任指揮者に迎え、翌年、アンサンブル・ミニオン(女声)と合併、新生クール・プリエールとして再スタートし、現在に至る。主としてルネッサンス期の宗教曲、世俗曲、ロマン派、近現代に至るヨーロッパのア・カペラ合唱曲をレパートリーに、繊細なアンサンブルを目指している。1982年都民コンクール第一部門第一位、1983年同招待演奏(黒岩英臣指揮)、1984年~87年宝塚国際室内合唱コンクール銅賞、TVEC(東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト)1995年一般の部金賞、2000年以降では銀賞2回・銅賞3回入賞。https://www.choeurpriere.com/

《チケットお取扱い》

チケットぴあ

Pコード 247756 <https://t.pia.jp/>

《主催・お問合せ》クール・プリエール

メール [info@choeurpriere.com](mailto:info@choeurpriere.com)  
tel.03-3718-0408



会場のご案内

**浜離宮朝日ホール**

東京・朝日新聞社 新館2階(本館奥)  
中央区築地5丁目3-2 Tel. 03-5541-8710  
都営大江戸線・築地市場駅(A2出口) すぐ  
東京メトロ日比谷線・築地駅(2番出口)・  
東銀座駅(6番出口) 徒歩約8分

## 《齋藤友香理氏、クール・プリエール次期常任指揮者に就任》



黒岩英臣氏の勇退に伴い、次期常任指揮者に齋藤友香理氏が就任します。齋藤友香理氏は、研究生として黒岩英臣氏に師事し、2008-2009年のクール・プリエール定期演奏会で練習伴奏・練習指揮をして以来、14年振りに当団との再会となります。来年2024年9月の第40回定期演奏会から、クール・プリエールの新たな時代のタクトを振る予定です。

齋藤友香理 (指揮者) Saito, Yukari

桐朋学園大学を経て渡独。ドレスデン音楽大学大学院指揮科で学び、2015年第54回ブザンソン国際指揮者コンクールで聴衆賞とオーケストラ賞を同時受賞。サイトウ・キネン・フェスティバル松本(現セイジ・オザワ 松本フェスティバル)で青少年のためのオペラ《ヘンゼルとグレーテル》でオペラデビュー、2018年にはバイエルン州立歌劇場でベトレンコのアシスタントをするなど、さらなる研鑽を積むとともに、国内の楽団でも指揮を重ねている。